



Corporate Message

To The Future

環境保全技術のプロフェッショナルとして

企業活動と地球環境の調和を目指して約60年。

これからも、持続可能な社会の実現に向け、行動してまいります。

TESSHA株式会社は、高度成長期におけるモータリゼーションの進歩に伴い、1962年より大気汚染対策の事業分野へ進出し、環境保全技術の研究に取り組んでまいりました。自動車排ガス対策用触媒マフラーをはじめ、工場排気ガスの触媒式脱臭装置の開発など、約60年に渡り画期的な環境保全製品を世に送り出しています。

持続可能な社会の実現が求められる現代において、当社が果たすべき役割はますます大きくなっていると感じています。長年培ってきた経験や技術を生かし、多様化するニーズにお応えしながら、100年先の地球環境を見据えた取り組みを実現してまいります。



触媒式脱臭装置

脱臭技術で環境保全に貢献しています

1972年に工場排気ガス対策用の脱臭装置を初めて納入し、以来、脱臭装置分野において、長期に渡り経験と実績を積んでまいりました。近年では小型装置を製品に加え、幅広いニーズにお応えするとともに省資源化に努めております。また、装置から発生する排熱もリサイクル活用、アフターサービスを充実させることで長くご利用いただけるよう工夫するなど、環境負荷を低減する取り組みを実施しています。



スリランカでの社会貢献事業に参画しています

当社ではSDGs（持続可能な開発目標）実現のため、グループ会社のVIRON社によるマンゴープロジェクトに2017年より出資しています。スリランカでの学校施設やマンゴー農園の支援による安定的な仕事の提供、生活支援に貢献しています。

自社事業の枠を超えて、世界の社会問題を解決する

当社が手掛ける環境装置は、お客様が安心して操業するために必要不可欠です。環境対策でお客様のお手伝いをする社会貢献事業の経験から、我々の想いはいつか世界の環境問題へと広がりました。志は高く持ち、社員ひとり一人ができることから始めて、やがてその想いや活動が世界へと発展することを願います。

代表取締役
栗原道明



社員ひとり一人が環境への意識を持って仕事をしています

品質、環境におけるISOマネジメントシステムの活用

当社はVOC（揮発性有機化合物）処理を目的とする装置の製作を手掛けております。2003年にISO9001、2005年にISO14001の認証を受けました。製品の品質向上は地球環境保全の一層の推進につながります。今後もマネジメントシステムを活用し、持続可能な社会を目指して注力していきます。

技術部 齋藤



再利用可能な資材は装置梱包に使用します

“資源を出来る限り有効利用し地球環境の保全に貢献する”という観点から、装置の梱包にリサイクル資材を利用しています。安全面も考慮し、段ボールを立体構造にした衝撃吸収パッドを作り運搬時の衝撃緩和に利用。環境への配慮と機能性を兼ね備えた工夫をしています。

技術部 青木



捨てればゴミ、分ければ資源

社内のゴミの分別を徹底しています。再利用されたプラスチックやペットボトルは、化学原料、洋服・タオルや新しいプラスチック製品の原料に。分別しリサイクルすることで資源が有効活用され、ゴミ処分エネルギーの削減につながります。環境保全のため、毎日の積み重ねを大切にしています。

管理部 堀内

